



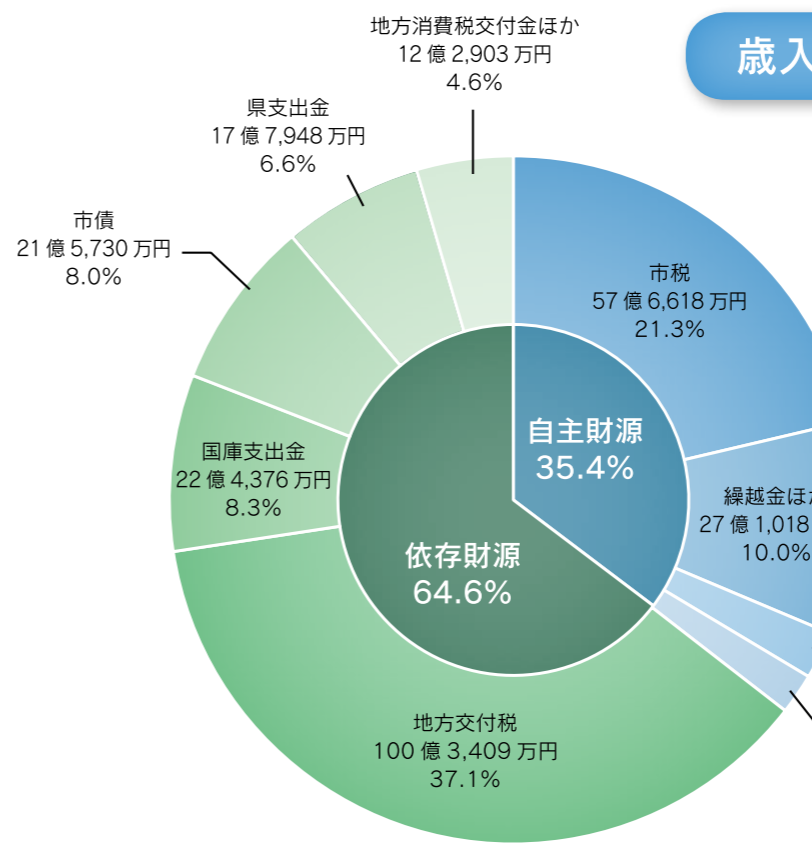
もっと詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページからご覧いただけます。

平成28年度 決算状況報告

歳入 270 億 4,268 万円

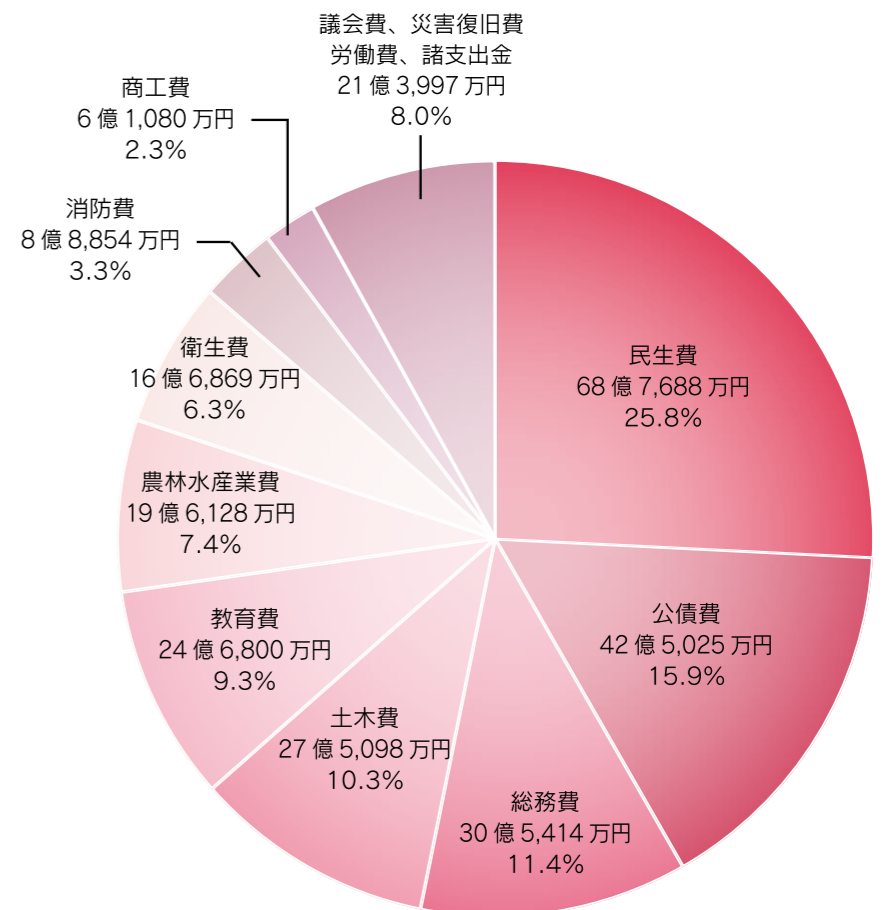
市民1人あたり 55 万 8,400 円

※市民1人あたりの金額は平成28年度末住民基本台帳人口48,427人で算出



歳出 266 億 6,953 万円

市民1人あたり 55 万 700 円



平成28年度一般会計の決算額は歳入が270億4,268万円、歳出が266億6,953万円でした。そのうち平成29年度へ事業を繰り越して使う財源を差し引いた実質収支は、2億5,726万円の黒字決算となりました。各財政指標が昨年度よりも上昇しているのは、下水道事業への繰出金の考え方を変更したことによるものです。

平成27年度から普通交付税が段階的に縮小しており、平成31年度をもって合併による特定期間が終了するため、将来の財源不足に備え、今後も健全な行財政運営に努めていきます。

決算の概要

平成28年度の歳入は、昨年度と比較して、旧庁舎等解体の財源とするための公共施設等整備基金取りくずし、寄附者の意向に沿った事業の財源とするためにふるさと応援寄附金を積み立てたふるさとまちづくり基金取りくずしなどにより、繰入金が大きく増加しましたが、大鳴門橋記念館施設移譲交付金や地域介護拠点整備費補助金、プレミアム付商品券販売収入の

皆減、市債の発行額を抑制したことなどが影響し、全体では4.4%のマイナスとなりました。歳出面では、昨年度と比較して、年金生活者等支援臨時福祉給付金の皆増、障害者介護給付費等の増加がありました。計画的に実施してきた繰上償還による元利償還金の減少、淡路広域水道企業団補助金（水道高料金対策）の大幅減少、災害復旧費の事業量の減により、全体では1.9%のマイナスとなりました。

(単位:%)

指標	南あわじ市		早期健全化基準	財政再生基準
	28年度	27年度		
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.66	20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.66	30.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	14.4	13.2	25.0	35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	141.2	122.8	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

(単位:%)

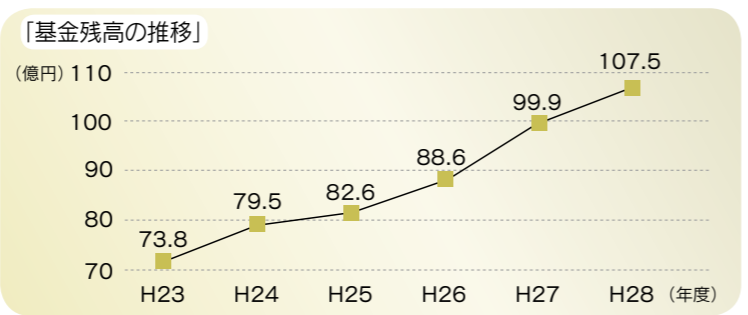
指標	南あわじ市		経営健全化基準	備考
	28年度	27年度		
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示

基金残高 107 億 4,819 万円

特定の目的のために資金を積み立てたり、運用したりする市の「貯金」です。

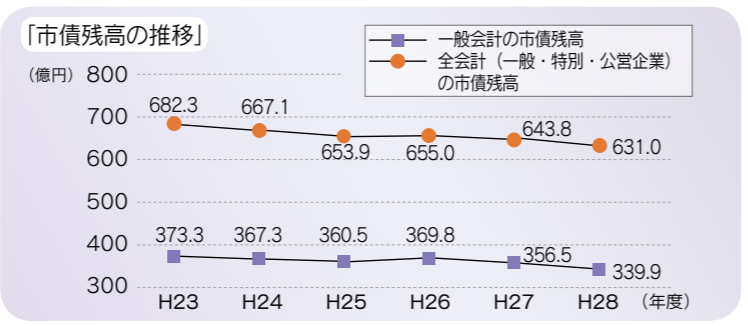
市民1人あたり 22 万 1,900 円



市債残高 339 億 8,594 万円

大きな事業を行う際に、銀行等から借り入れた市の「借金」です。

市民1人あたり 70 万 1,800 円



主な平成28年度事業



コミュニティバス運行対策事業
総務費 1 億 2,287 万円
コミュニティバス(らん・らんバス)等を運行することで、市民の生活移動手段の確保に努めました。



市営住宅建設・解体事業
土木費 2 億 7,215 万円
広田住宅の新築工事及び老朽化した市営住宅の解体を行いました。



3歳児以上保育料無料化事業
民生費 2 億 3,802 万円
(一般財源影響額)
児童1人あたり約20万円



小学校空調設備整備事業
教育費 1 億 7,998 万円
榎列、福良、松帆小学校の空調設備の整備を行いました。